

2014年9月17日

この春の専門学校入学者の進学活動

【2014年度 全国専門学校共同入学調査】

・“価値”が高いと感じた学校を選んでいる

～学習設備、先生、就職、そして学校自体の評価にいたるまで、入学校を非常に高く評価して入学している～

・学校を知った“きっかけ”は「身近な人」が3人に1人

～入学校を初めて知ったきっかけは「高校の先生」「親や家族」「知人」など「身近な人」が38.6%～

・「AO入試」での入学者が減少傾向

～高校生で「AO入試」を利用して入学した割合は近年減少傾向～

一般社団法人大阪府専門学校各種学校連合会（大阪市都島区／理事長 福田益和）は、新学期開始前後の3～5月に、「全国専門学校共同入学調査」を実施いたしました。本調査は専門学校入学による進学活動の実態把握と、専門学校教育の質の向上に役立てていただくことを目的としています。進路選択や職業教育についての調査研究を行う株式会社応用社会心理学研究所の協力のもと、大阪府専門学校各種学校連合会が企画し、2009年度から実施しています。今年度は6年目をむかえ、全国で79校、**専門学校入学者の約4.2%（※「平成25年度 学校基本調査」より推計）にあたる11,376名の学生**に対して調査を行うことができました。専門学校の進学者を対象とする大規模調査としては他に例がなく、画期的な取り組みとして注目されています。

ここに調査結果の要旨をご報告いたします。よろしくお取り計らいのほどお願い申し上げます。

<主な調査結果>

専門学校入学者の入学校評価

- 入学者の8割以上が、専門学校を積極的に評価して進学先を決定 P.3
- 入学者の4人に3人が、入学校を「他人にも勧めたい」と回答 P.4
- 「学習設備」「先生」「就職」を特に高く評価して入学 P.5
- 「学費の安さ」で学校を選んでいるわけではない P.6

メディアの利用状況

- 学校のことを「初めて知ったきっかけ」は「身近な人」が3人に1人 P.7
- 学校のことを「初めて知ったきっかけ」
高校生はガイダンスや“紙媒体”，既卒者は“PC”が多いことが特徴的 P.8

入学に利用した入試方式

- 高校生で「AO入試」での入学者が減少傾向 P.9

※「全国専門学校共同入学調査」では86項目について詳細な調査を行っており、本調査結果では、その中の一部を紹介しています。

■ 調査概要

- 企画名： 専各連合会特別企画『2014年度 全国専門学校共同入学者調査』
- 企画： 一般社団法人 大阪府専修学校各種学校連合会／株式会社 応用社会心理学研究所
- 調査期間： 2014年3月～5月
- 調査対象者：2014年度の全国の専門学校入学者 11,376名（うち有効回答者数10,910名）
全国の専門学校 79校
- 調査方法： 調査は無記名で実施し、各学校にて入学前もしくは入学直後の時期に、
オリエンテーションなどを利用して配布・回収
- 調査内容： 設問項目数86項目
- 参画校全体データの抽出方法：

専門学校入学者全体の傾向を正確に把握できるように、以下の①～③のデータ処理を行った結果抽出された2,100名を分析対象にしています。

- ①回答精度が低いなど、分析に適さないサンプルを除去。
- ②各学校から200サンプルを上限にランダムに抽出し、規模の大きい学校の偏りを是正。
- ③「平成25年度 学校基本調査」（文部科学省）の男女別・分野別入学者比率に合わせてサンプル割付を行い、性別・分野による偏りを是正。

■ お問い合わせ先（企画事務局）

一般社団法人 大阪府専修学校各種学校連合会

担当：副理事長 重里（じゅうり），進学対策委員長 谷本（たにもと）

※大阪府私学教育文化会館の建物建替え準備のため、平成26年6月6日（金）より仮事務所で業務を行なっています。
新事務所につきましては、平成27年10月を予定しております。

※電話番号・FAX番号の変更はございません。

[仮事務所] 〒540-0012 大阪市中央区谷町2-2-20 大手前類第一ビル 7F

[新事務所] 〒534-0026 大阪市都島区網島町6-20 大阪府私学教育文化会館103号室

TEL：06-6352-0048 FAX：06-6352-7553

mail：info@osaka-senkaku.or.jp URL：http://osaka-senkaku.or.jp

※リリース内容については、下記までお問い合わせください。

株式会社 応用社会心理学研究所（アспект）

担当：三木（みき），古谷（ふるや）

〒540-0031 大阪市中央区北浜東1-8 北浜東森田ビル5F

TEL：06-6941-2171 FAX：06-6941-2081

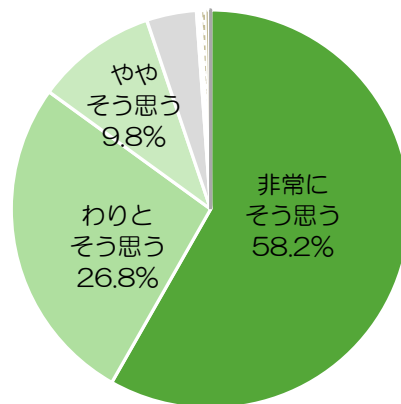
mail：o-senkaku@aspect-net.co.jp URL：http://www.aspect-net.co.jp

入学者の8割以上が、専門学校を積極的に評価して進学先を決定

- 「本校（入学校）にぜひ入学したい」と思っていた学生は、「非常にそう思う」「わりとそう思う」という積極的な評価を合わせると8割を超える。
- 同様に、「総合的に評価して、良い学校だ」と思っていた学生は、「非常にそう思う」「わりとそう思う」という回答を合わせると8割を超え、進学する専門学校を高く評価していることがわかる。

■入学校評価：本校（入学校）に、ぜひ入学したいと思っていた【単一回答】

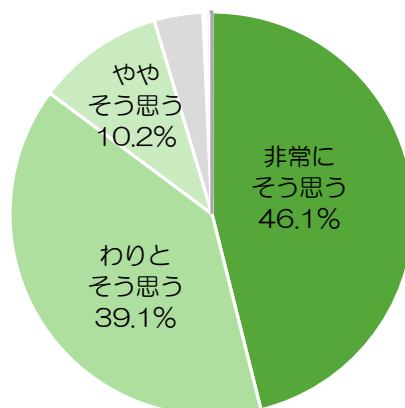
	人数	%
非常にそう思う	1223	58.2
わりとそう思う	562	26.8
ややそう思う	206	9.8
どちらとも言えない	85	4.0
ややそう思わない	7	0.3
あまりそう思わない	10	0.5
まったくそう思わない	5	0.2
不明	2	0.1
計	2100	100.0



※5%未満は非表示

■入学校評価：総合的に評価して、良い学校だ【単一回答】

	人数	%
非常にそう思う	968	46.1
わりとそう思う	821	39.1
ややそう思う	214	10.2
どちらとも言えない	82	3.9
ややそう思わない	6	0.3
あまりそう思わない	2	0.1
まったくそう思わない	3	0.1
不明	4	0.2
計	2100	100.0



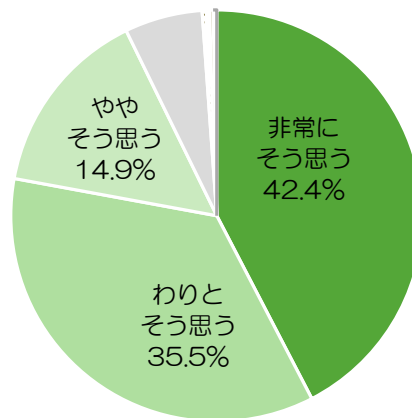
※5%未満は非表示

入学者の4人に3人が、 入学校を「他人にも勧めたい」と回答

- 学校全体に活力を感じた入学者は、「非常にそう思う」「わりとそう思う」を合わせると7割を超える。
- さらに、「この分野に興味を持つ人がいれば、本校（入学校）を勧めたい」に対する「非常にそう思う」「わりとそう思う」という回答は、合わせて7割を超えている。入学校に対する評価の高さを裏付けるとともに、自分が選んだ専門学校に自信を持って進学した学生が多いということもうかがえる。

■入学校評価：学校全体に活力を感じる [単一回答]

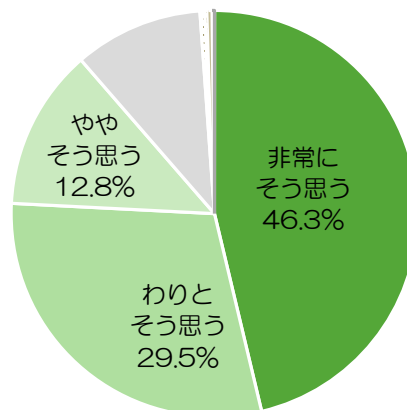
	人数	%
非常にそう思う	890	42.4
わりとそう思う	746	35.5
ややそう思う	312	14.9
どちらとも言えない	128	6.1
ややそう思わない	11	0.5
あまりそう思わない	4	0.2
まったくそう思わない	3	0.1
不明	6	0.3
計	2100	100.0



※5%未満は非表示

■入学校評価：この分野に興味を持つ人がいれば、本校（入学校）を勧めたい [単一回答]

	人数	%
非常にそう思う	972	46.3
わりとそう思う	620	29.5
ややそう思う	269	12.8
どちらとも言えない	215	10.2
ややそう思わない	8	0.4
あまりそう思わない	6	0.3
まったくそう思わない	6	0.3
不明	4	0.2
計	2100	100.0



※5%未満は非表示

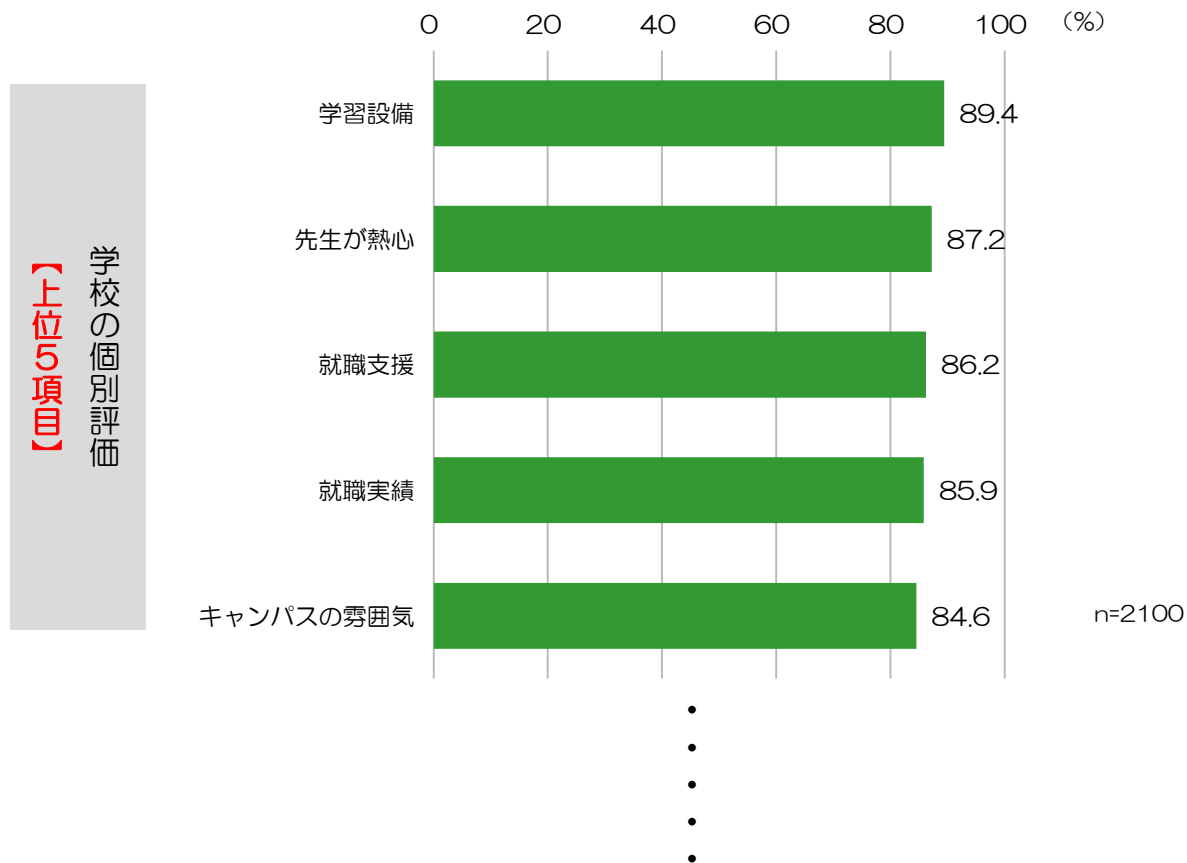
「学習設備」「先生」「就職」を特に高く評価して入学

- 入学者の9割近くが「学習設備」を肯定的に評価している。また「キャンパスの雰囲気」も8割半ばが肯定的に評価しており、自分自身が学ぶ環境に関心が高い学生が多い様子がうかがえる。
- また、「先生」についての評価も高く、8割半ばの入学者が「先生が熱心」と回答している。入学後は先生からしっかり教わりたいという気持ちが反映されているのではないかと考えられる。
- 「就職支援」や「就職実績」についても、約8割半ばの入学者が肯定的に回答している。卒業後の就職についても関心が高い学生が多いことがあらわれていると思われる。

■入学校評価：上位5項目 ※全12項目中

※グラフの値は「非常にそう思う」「ややそう思う」の合計値。

※項目名は実際の設定問文とは異なります。



専門学校入学者の入学校評価

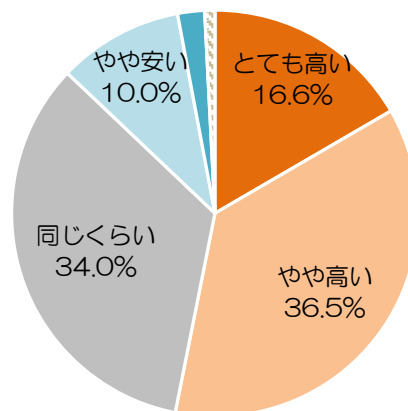
「学費の安さ」で 学校を選んでいるわけではない

- 入学校の学費について、「同じような分野や内容の他校と比べて、どのように思いますか」という設問に対して、「とても高い」「やや高い」という回答はそれぞれ16.6%、36.5%となっており、高いと答えた割合は半数を超えている。
- 一方で「安い」と答えた割合はわずか1割程度であり、学費の安さを理由に入学した人は少ない。反対に、学費が高くて“価値”があると感じた学校を選んでいるのではないかと考えられる。

■入学校の学費イメージ：

学費は同じような分野や内容の他校と比べて、どのように思いますか。〔単一回答〕

	人数	%
とても高い	349	16.6
やや高い	767	36.5
同じくらい	713	34.0
やや安い	209	10.0
とても安い	45	2.1
不明	17	0.8
計	2100	100.0



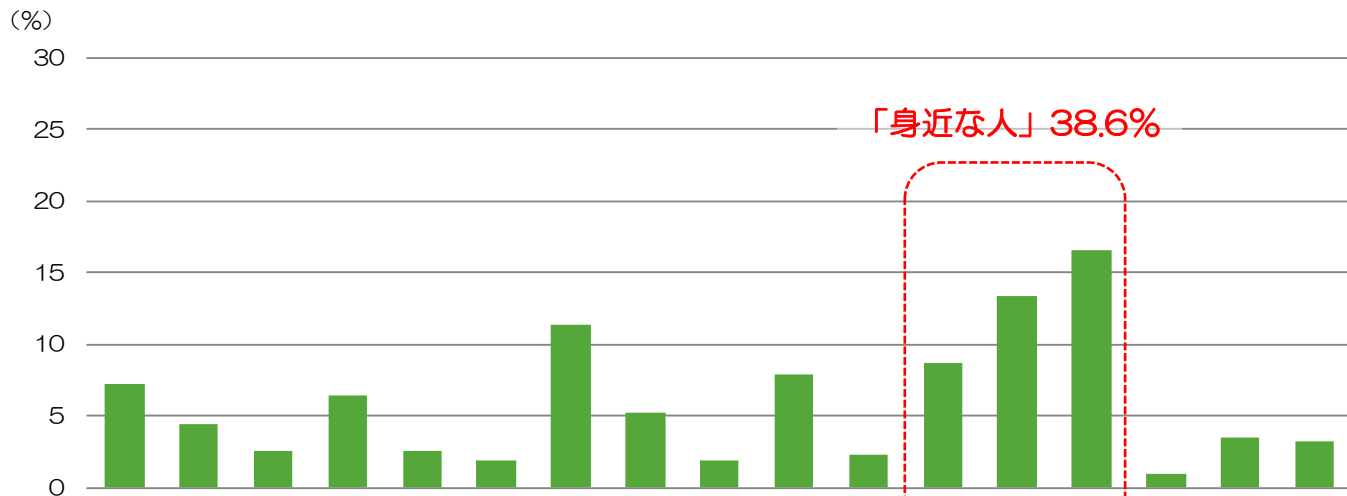
※5%未満は非表示

学校のことを“初めて知ったきっかけ”は 「身近な人」が3人に1人

- 入学者の3人に1人が、入学校のことを“初めて知ったきっかけ”が「身近な人」であることがわかった。「知人・友人・先輩など」が16.6%、「親やその他の家族」が13.3%、「高校の先生」が8.7%となっている。
- 「高校内説明会やガイダンス」も11.4%と比較的割合が高くなっている。次いで「パンフレットや資料」7.9%、「進学情報誌」7.2%、「一般の検索サイト[PC]」6.4%と続いている。

■メディアの利用状況：

本校（入学校）を初めて知ったきっかけ [単一回答]



入学者全体 (n=2100)	7.2	4.4	2.6	6.4	2.5	1.9	11.4	5.2	1.9	7.9	2.3	8.7	13.3	16.6	1.0	3.5	3.2
進学情報誌	[PC] 進学情報サイト	[携帯・スマホ] 進学情報サイト	[PC] 一般検索サイト	[携帯・スマホ] 一般検索サイト	ガイダンスや説明会や本校以外の会場	高校内説明会やガイダンス	[PC] 学校ホームページ	[携帯・スマホ] 学校ホームページ	パンフレットや資料	本校主催のイベント	高校の先生	親やその他の家族	知人・友人・先輩など	ラジオ・テレビ・新聞	その他	不明	

メディアの利用状況

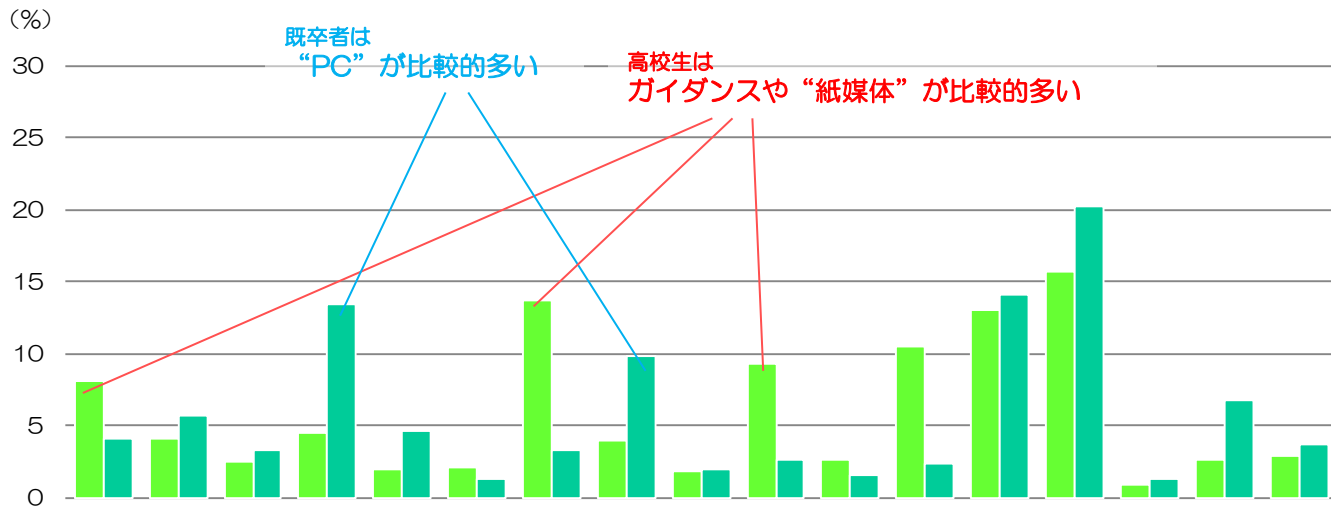
学校のことを“初めて知ったきっかけ”

高校生はガイダンスや“紙媒体”，既卒者は“PC”が多いことが特徴的

- 高校生が入学校のことを“初めて知ったきっかけ”は、「高校の先生」「親やその他の家族」「知人・友人・先輩など」の「身近な人」が39.2%と多いほか、「高校内説明会やガイダンス」が13.7%と比較的高くなっている。また、「進学情報誌」8.1%、「パンフレットや資料」9.4%など、“紙媒体”の割合が高いことも特徴である。
- 既卒者でも「身近な人」が36.7%と多いほか、「一般の検索サイト[PC]」13.5%、「学校ホームページ[PC]」9.8%など、“PC”の割合が多いことが特徴である。

■メディアの利用状況：

本校（入学校）を初めて知ったきっかけ [単一回答]



■ 高校生 (n=1636)	8.1	4.1	2.4	4.5	2.0	2.1	13.7	3.9	1.8	9.4	2.6	10.5	13.1	15.6	0.9	2.6	2.9			
■ 既卒者 (n=460)	4.1	5.7	3.3	13.5	4.6	1.3	3.3	9.8	2.0	2.6	1.5	2.4	14.1	20.2	1.3	6.7	3.7			
進学情報誌	[PC]		[携帯・スマホ]	[PC]	[携帯・スマホ]	ガイダンス	本校以外の会場	高校内	説明会やガイダンス	[PC]	[携帯・スマホ]	パンフレットや資料	本校主催のイベント	高校の先生	親やその他の家族	知人・友人・先輩など	ラジオ・テレビ・新聞	その他	不明	
	進学情報サイト			一般検索サイト					学校ホームページ											

入学に利用した入試方式

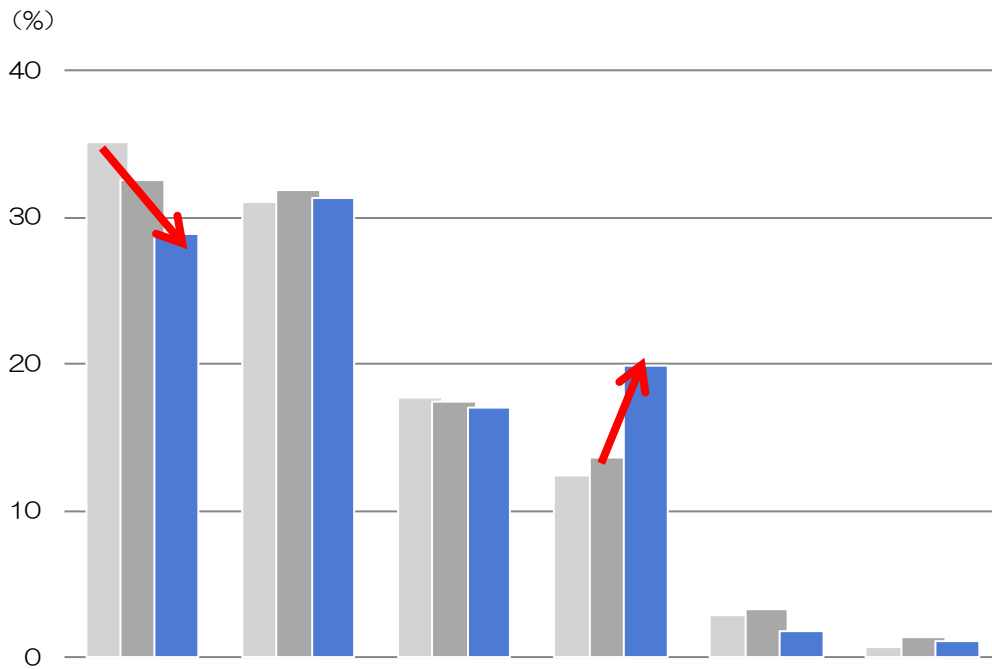
高校生で「AO入試」での入学者が減少傾向

- 高校生が専門学校に入学する際に利用した入試方式は「推薦入試」が31.4%と最も多く、次いで「AO入試」28.9%、「一般入試」19.9%、「指定校推薦」17.1%という結果になった。
- 「推薦入試」に次いで割合が高い「AO入試」であるが、この3年で経年比較すると割合が減少傾向にあることがわかった。2012年度入学者では35.0%と最も割合が高かったが、2013年度入学者では32.5%、2014年度入学者では28.9%と年々低下している。
- 一方で「一般入試」の割合が、2014年度入学者は2013年度入学者と比べて増加した。

■入学に利用した入試方式：

本校（入学校）に入学した時の「入試方式」はどれですか。 [単一回答]

※高校生限定データ



■ 2012年 (n=1735)	35.0	31.1	17.8	12.4	2.9	0.7
■ 2013年 (n=1778)	32.5	31.8	17.5	13.6	3.3	1.3
■ 2014年 (n=1636)	28.9	31.4	17.1	19.9	1.8	1.0
	AO入試	推薦入試	指定校推薦	一般入試	その他	不明